

松波総合病院 ボランティア活動の心得

松波総合病院でボランティア活動をしていただくにあたり、患者さんへのより良いサービス提供、そして皆様が安心して活動に臨んでいただけるよう、以下の心得をまとめました。ご協力をお願いいたします。

【活動の基本的なあり方】

病院ボランティア活動は、「患者さんのため」「病院のため」、そして「ボランティア活動者自身のため」になるものです。

病気や怪我、不安を抱える患者さんにとって、心安らぐひとときを提供したいという気持ちこそが、活動の原点です。

ただし、あくまでも「医療行為にわたらない病院業務の補助者」であり、「患者さんの安静と治療の妨げにならない」という点を常に意識することが大切です。

【病院という場所を理解する】

病院には、診療科、看護部、薬剤部、放射線室、検査室、栄養科など、多くの専門部門が存在し、職員や関係者がそれぞれの役割を担っています。

円滑な活動のため、病院の構造や特殊性について、事前にある程度の知識を身につけておくことも必要です。

【ボランティア活動の役割と責任】

「善意でやっている」という意識が先行し、ご自身の価値観を押し付けてしまうことは避けなければなりません。また、「無償だから」という理由で、安易な行動をとることも控えるべきです。

ボランティア活動中は、常に状況を把握し、患者さんやご家族への配慮を忘れずに、責任ある行動を心がけましょう。

【活動する上で守るべきこと】

1. 活動のあり方

ボランティアとしての役割と立場を自覚し、責任感を持って活動しましょう。

活動日時を守り、やむを得ず変更する場合は、事前に責任者へ連絡しましょう。

活動内容が自身に合わないと感じた場合は、遠慮なく責任者へ相談しましょう。

活動は、可能な限り継続して行うことが望ましいです。

病院やボランティア活動に関する規則、指示を守りましょう。

独断で行動せず、不明点や問題が発生した場合は、必ず責任者へ相談しましょう。

患者さんやご家族へ過剰な世話を焼き、負担をかけることは避けましょう。

病院内で知り得た情報は、口外しないように注意しましょう。特に、患者さんの個人情報や病状に関する情報は厳守してください。

病院内での政治活動や宗教活動は禁止されています。

他のボランティアや病院職員と協力し、良好な関係を築きましょう。

2. 健康管理

病院で定められた時期に健康診断を受診しましょう。

体調が優れない場合は、無理せず活動を見合わせ、責任者へ連絡しましょう。

活動中に体調不良や怪我をした場合は、速やかに責任者へ報告しましょう。

活動の前後には、手指の消毒を徹底しましょう。

3. 服装・身だしなみ・言動

指定のエプロンと名札を必ず着用しましょう。

服装は、華美なものを避け、動きやすく清潔感のある服装を心がけましょう。

靴は、音が鳴りにくく、かかとの低いものを着用しましょう。

香水は控えめにし、華美な化粧やアクセサリーは避けましょう。

活動中は、静かに会話し、大声で話したり笑ったりすることは控えましょう。

活動中のガム、飲食は控えましょう。また、病院敷地内は禁煙です。

4. 公私混同の禁止

活動中の私語は控えましょう。

特段の事情がない限り、家族や友人を病院へ連れてくることは控えましょう。

活動中に個人的な用事(知人の見舞い等)は避けましょう。

5. 患者さんへの接し方

患者さんに対しては、常に笑顔で、親切・丁寧な言葉遣いを心がけましょう。

全ての患者さんに対し、公平かつ平等に接し、特定の患者さんと親密になりすぎることは避けましょう。

患者さんの個人情報や病状に関する情報は、絶対に口外しないでください。

患者さんの容態や治療内容について、詮索することは控えましょう。

患者さんから病気や病院に関する質問を受けた場合は、担当の看護師へ対応を依頼しましょう。

患者さんやご家族へ金品や贈答品の授受は控えましょう。

皆様のご協力が、患者さんにとってより良い病院環境を作る力となります。

活動を通して、多くのことを学び、感じ、豊かな経験としていただければ幸いです。